

6 今後の課題の整理

今後、「本物」を活かした地域づくりを推進するにあたっての、今後の課題を抽出し、以下のとおり整理した。

(1) 「本物」を活かした地域づくりの概念について

- 「本物」資源の考え方については、別途検討がなされている「関西ブランド」との整合を考慮はしているものの、完全に一致する概念とはなっていないため、今後、調整が必要であると考える。
- また、「本物」を活かした地域づくりの概念については、上位計画である広域地方計画（現在検討中）での考え方との調整も図っていく必要がある。

(2) モデル地域及び成功事例について

- モデル地域については、ヒアリングを通じて、取り組みの概要と共に、取り組み課題についても伺いしており、本業務において、参考となる取り組み事例や対応方策の方向性のヒントに関しても検討した。このため、取り組み課題への対応の参考として、本検討結果等について、モデル地域にフィードバックすることが望ましいと考える。
- 、モデル地域の概況を踏まえた上で、成功事例として、近畿圏・それ以外の地域からいくつかをピックアップし、事例集としてまとめたが、今後も成功事例データのストックを継続的に行うことで、効率的・効果的な地域づくり手法の研究を進めていくことが望まれる。

(3) 「本物」を活かした地域づくりの今後の推進について

- 本業務では、近畿圏における先行事例について、調査・整理・分析を行ったが、今後、取り組みを始めたい、または、進めたいと思っている「本物」資源を有する地域をどのように抽出、支援していくのか、詳細は詰まっておらず、今後の取り組み推進に向けた支援制度等の制度設計が望まれる。
- 「本物」を活かした地域づくりを推進していくために、各地域の取り組み主体が「本物」資源や自分たちの取り組みをセルフチェックする為の「セルフチェックシート」を作成したが、今後、具体の運用を通じて、ブラッシュアップを図り、より使いやすいツールとして改良・活用を図っていくことが望まれる。
- また、支援ツールやモニタリング手法も同様であり、今後の具体の運用を図りながら改良・活用を図っていくことが望まれる。